

当財団の設立目的である「科学技術の振興」、「青少年の健全育成」について次の活動を行いました。この活動のためマツダ株式会社から寄付を受け、低金利による運用収益を補うとともに、限られた資金を最大限に活用するように創意工夫をしました。

まず、科学技術振興分野では、先進性・独創性のある研究に対して助成を行いました。特に、「若手研究者」、「萌芽的研究」、「循環・省資源への寄与」に継続して注力しました。また、青少年の科学離れへの対応として、小中高校生を対象に科学にわくわくする機会を提供し「科学するところ」を養うことを目指した事業「科学わくわくプロジェクト」を広島大学と連携して実施しました。

次に、青少年健全育成分野では、市民活動との連携強化を図り、市民活動の活性化に寄与する実践的な研究に絞って助成を行いました。また、市民活動支援は、広島・山口両県における青少年健全育成のための地域に密着した活動に助成しました。更に、小学生に感動を与えるプロジェクト「感動塾・みちくさ」は、(財)広島市ひと・まちネットワーク等と共同で開催しました。講演会では、養老 孟司氏を講師としてお招きし、「生きる力」と題してお話をいただきました。約1,350名の聴講者があり、好評を得ました。大学講義では、県立広島大学にて単位互換「ボランティア活動」を行いました。

なお、管理運営面では、これまで公益法人制度改革への対応を進めてきましたが、計画通り7月1日に内閣府へ公益財団法人への移行の認定申請を行い、10月22日付で認定を受け、11月1日付で特例財団法人の名称変更による公益財団法人設立の登記及び解散の登記を完了しました。

科学技術振興関係

① 研究助成

機械、電子・情報、材料の3分野の研究26件に、計3,000万円の助成が決定しました。助成金の支払いは、11月末に行います。(国内/公募)

② 科学わくわくプロジェクト

小中高生の科学体験の普及を目指す「科学わくわくプロジェクト」を、広島大学と連携して実施しました。

③ 事業助成

研究者による小中高の生徒を対象とした「科学体験」事業13件に、計130万円の助成を行いました。(中国地方/公募)

青少年健全育成関係

① 研究助成

青少年健全育成に係る市民活動の活性化に役立つ実践的な研究5件に、計400万円の助成が決定しました。助成金の支払いは、11月末に行います。(国内/公募)

② 市民活動支援

青少年の心豊かな成長の一助となる地域に密着した民間の非営利活動31件に、計800万円の支援をしました。(広島県・山口県/公募)

③ 感動塾・みちくさ

子どもたちが自然に触れ、体験や実験などを通じて、科学に対する興味を深め、自分たちで創意工夫することにより科学を学ぶ心を養うことを目的に、3施設で2団体と共催しました。

④ 講演会の開催

当財団の活動主旨を広く知っていただく活動の一つとして、養老 孟司氏を講師に迎え実施しました。

⑤ 大学寄付講義

県立広島大学にて、単位互換「ボランティア活動」の講義を行いました。

事業の概要を以下に記します。